

HOPEニュース

平成28年5月号

日本システム(株)
医療福祉ソリューション本部

発行責任者：鳴松

TEL 099-254-7200

日中は汗ばむ程ですが、朝夕はまだ寒さが残っている今日この頃です。確実に早くなってくる日の出、遅くなっていく日の入りから夏へ向かっている事を実感します。

さて、改定後の請求業務も終わり一段落した所です。

修正情報のご対応など大変お手数をおかけしましたが、皆様方のご協力に心から感謝しております。私ども今改定における反省を行い、より一層のサービス提供を目指して参りますので今後ともご愛顧の程宜しくお願い申し上げます。

● 平成28年4月医療改定 FAQ ●

平成28年4月1日施行の医療改定に対して多く問合せがありました内容について、以下に記載致します。

※対象バージョン：SX-R、SX-J、EGMAIN-RX

問合せ内容	回答(対応策)
<p>■平成28年4月レセプト改定を適用後、レセプト電算編集をかけたところ、「管理番号：8492340 湿布薬超過投与理由：＊」のコメントマスタを入力している患者で、「L3438 コメントデータの記録漏れ」というエラーがでています。原因と対処方法を教えてください。</p>	<p>点数マスタ登録で、「管理番号：8492340 湿布薬超過投与理由：＊」の＊（アスタリスク）部分に固定のコメントを登録してしまうと、該当のエラーが発生します。「管理番号：8492340 湿布薬超過投与理由：＊」は名称スケルトンマスタとなりますので、会計で、＊（アスタリスク）部分にワープロコメントが入力されることでレセプト電算データにコメントが記録されます。</p>
<p>■『平成28年熊本地震に関する診療報酬等の請求の取り扱いについて（ご連絡）』『■レセプト電算による請求手順』では、「減免措置」のレセプト電算請求を行う際に、分類コードの減免区分に設定をしてくださいと記載されています。これは[ユーザテーブル]-[窓口設定]-[患者設定テーブル]-[56.算定条件減免による患者負担補正]の設定を行うことで回避できますか。</p>	<p>平成28年4月15日付の事務連絡『平成28年熊本県熊本市地方の地震による被災者に係る被保険者証等の提示等について』には患者請求に関する記載がないため、分類コードでの対応を記載させていただいております。※分類コードでの対応につきましては、レセプト電算データに、減免区分、証明書番号を出力するための設定となります。患者請求が免除されるようであれば、[ユーザテーブル]-[窓口設定]-[患者設定テーブル]-[56.算定条件減免による患者負担補正]=「1.支払免除・猶予で患者負担なし」に設定し、[患者登録]画面の[算定条件]に「2減免」・「2免除」・「開始日」を登録してください。患者負担率が0%となり、レセプト電算データに[減免区分]に「2.免除」が出力されます。</p>

● 停電時の対応とデータ退避について ●

梅雨に入り、本格的に雨が降る時期になりました。突然の集中豪雨や連続的な長雨など、雨の降り方も様々ですが、この気象現象からコンピューターシステムを守る為にどうしたら良いかを考えてみましょう。

雨の多い時期は、停電や瞬停（瞬間的に停電すること）が発生する場合があります。停電時は、子機（クライアント）の電源が切れて、無停電装置（UPS）が「ピーピー」と鳴ります。

そんな時は慌てず通常の処理（シャットダウン）で、子機の電源を切り、最後に親機の電源を切ります。原則電源ボタンで電源を切らないで下さい。電源ボタンを押して強制終了させると、ディスク障害やシステム障害などの原因になります。停電が復旧しましたら無停電装置が動いている事を確認して、次に親機の電源を投入、初期メニューが表示されましたら子機の電源を投入します。

もし瞬間的な停電ですぐに親機（サーバー）まで電源が切れる場合は、無停電装置（UPS）のバッテリーが対応年数を過ぎていたことが考えられます。（機種により異なりますが、概ね2年～3年位です）瞬停時は親機が運転中でも子機の電源が切れたり、ネットワークエラーやデータベースエラーが発生する場合があります。不明な点は弊社へご連絡下さい。

また、万が一に備えて毎日のデータ退避は必ず行って下さい。突然の落雷から被害を100%防止することは不可能です。物理的な機械部分は部品やユニットを交換すれば修復できますが、システムの中に保存されているデータは、一旦破壊されると復旧することが極めて困難になります。しかし、日々の業務で「データ退避」をきちんと行っていれば、データが破壊される直前の状態まで復旧する事が出来ます。

「データ退避」はシステム運用を行う上での「保険」の役割を担っています。そういう意味でこの梅雨時は今一度「データ退避」の重要性を再認識する良い時期であると思います。

● 雨時の印刷用紙の取り扱いについて ●

コンピューターで印刷するにあたって、最悪な時期を迎えました。梅雨時期は用紙が湿気を含み易く、印刷後に波打ち現象が出たり、印字がにじんだり、最悪の場合紙詰まりを起こします。

以下にいくつか対策事例を挙げますので、参考にしてみてくださいはいかがでしょうか。

- ① 紙の在庫品をむき出しにせず紙箱に入れたままにするか、密閉できるビニール袋に入れて保管棚に保管し、使用する分だけ取り出す。特に水気のある場所は絶対避ける。印刷後、残ったレセプト用紙は保管棚またはキャビネットに戻す。
- ② 保管棚の中に除湿剤を置いておく。
- ③ レーザープリンターのカセットの中の隙間（空間）に除湿剤を置いて効果があった・・・という事例もあります。
- ④ 印刷物が波打ったり、用紙詰まりが多発する場合は別の用紙と交換してみる。新しい用紙では問題無く印刷される事があります。